



World Leader in Rating Technology

OFFSHORE RACING CONGRESS



ORC Championship Rules
2016

ORC チャンピオンシップ ルール

1. オーソリティー

オフショアレーシングコングレス (ORC) はワールドセーリングが、インターナショナルメジャメントシステム (IMS) , ORC レーティングシステム (ORC International と ORC クラブ)、ORC グランプリクラスルールと、関連する規定・計測とクラス、を管理する唯一のオーソリティーである事を認めた国際機関である。

2. チャンピオンシップ

2.1 ORC は以下の世界選手権・大陸間選手権の包括的な機関である。

- オフショアチーム世界選手権
- ORC インターナショナル選手権
- ORC クラス選手権

オフショアチーム世界選手権は、その時々には ORC オフショアクラスイベント委員会によって認可される主催団体によって提案される国別チームに対してオープンである。

2.2 隔年に開催されるオフショアチーム世界選手権を例外として、世界及び大陸間選手権はこれらのチャンピオンシップルールに従って ORC 標準レース公示と ORC 標準帆走指示書及び、必要であれば関連するクラスルールを使って毎年開催される。

2.3 ORC は、特定の水域とその近隣の国々からの参加艇が見込まれる地区での選手権開催を認める事がある。

3. チャンピオンシップ開催の申込

3.1 チャンピオンシップ大会開催の申し出は、開催の二年前までに開催団体から、所属する各国のオーソリティーの保証付きが望ましい、ORC に受理されねばならない。さらに、将来の大会開催の可能性を熟考している申込者はその意向を3年前には ORC に伝える事が強く求められる。

3.2 申込には 主催団体 (OA) と以下の情報が必要。

- a) OA の過去における主要な大会開催の経歴。
- b) 参加可能性のある最大隻数と国数。
- c) 開催水域に収容可能な最大隻数
- d) 以下のような適正な沿岸部の設備について、
 - セールの計測やフリーボード・傾斜テストが可能な閉鎖された水域等の、必要な計測が可能な適切な場所
 - 上架設備
 - ホテルなどの滞在施設についての情報、不動産業者情報
 - 適切なホテル（最低3スター）がレース委員・審判・その他主要な委員会メンバーのために OA が提供される事を保証する。宿泊に関しては、食事を含み、現地送迎、ブロードバンドインターネット接続等が必要。
 - 以下のための事務所スペース：レース委員会・計測員・審判・仲裁室と入室制限可能なメディアセンター・認定されたメディアやレーススタッフの活動出来る部屋。ブロードバンドインターネット接続。
 - レース委員会用の適切な運営艇、マーク設置艇、審判・計測委員会艇、写真やビデオ撮影用のメディア艇
- e) 適切なインショアとオフショアのレースエリアを示す海図
- f) 参加者のための陸上商業施設：レストラン・マリン装備品と修理サービス・セール修理サービスプラン・支援車両の駐車場所配置案・保安計画。
- g) 主催団体のイベントに関しての財政の概略、大会スポンサーの可能性、定期的な大会の財政状態の見直し。主催者はまた、ORC と協力して参加費と参加締め切り日程など、参加者の早期申込を促す設定を行う。
- h) 選手権之「出場資格となるかも知れない地方の活発なレースフリートの報告

i) マーケティングやメディア対策等の大会広報計画

j) 大会の性格付けとなるような、興味を引く自然景観や、水域における特別な特徴や革新性、

申込は上記 3.2(a)-(j)の質問に文書での回答にて提出される、そして付則 1-チャンピオンシップチェックリストが双方にて、大会の重要項目の進展を確認するために使用される。申込には大会の水域とその設備機能の詳細な資料が含まれる事。主催団体 (0A) が用意する提案されたレース水域視察と、主要な委員会メンバーとの会合を含む ORC の事前承認視察訪問が必要となるかもしれない。

申込には、主催団体 (0A) はこれらの規定で義務付けられる事を全て受け入れ、規定を充足するようチャンピオンシップの実施を統括する事を、団体の上位役員の署名をもって明確に記述されねばならない。

- 3.1 大会実施水面の認証に当たり、ORC は地理的な他の大会との位置関係を考慮することがある。一旦認証が与えられたら、合意文書が作られ大会の開催協力の概括条件に付いて両者が署名を取り交わす。

4. 主催団体 (0A) の義務

- 4.1 ORC の指導と承認によって、主催団体 (0A) はレースコミッティー・インターナショナルジュリーと計測委員の一時的な指名を行う。プリンシパルレースオフィサー、インターナショナルジュリーチェアマン・チーフメジャラーは、IMS・ORC レーティングシステムと外洋レースに付いての適切な経験を必要とする。

4.2 ORC の認証

大会の成功のために上記 3. 項に充足するよう主催団体 (0A) は ORC と緊密に働くよう期待される。

加えて、遅くとも大会の 6 ヶ月前までに全ての委員会メンバーのリストが ORC の承認が得られるように提出されねばならない。ORC は大会を成功に導く必要性に応じて、メンバーの追加や交代を要求する権利を持つ。

4.3 公式言語

公式言語は英語とする。全ての上位役員、レース委員会・インターナショナルジュリー・計測委員は、全ての告知、打ち合わせにおいて英語に堪能で無ければならない。地方言語のコミュニケーションは許されるが、指定されれば公式ではない。

4.4 インターナショナルジュリー

インターナショナルジュリーは ORC の代表を含む事ができ、RRS 付則 N に準拠し委員長と ORC の代表を含むジュリーの大多数は計測とインスペクションの初日から居ていなければならない。解釈、定義又はルールや規定の意図等に意見の相違があれば、その疑義はインターナショナルジュリーに問い合わせられ、解釈、定義又はルールや規定の意図に付いての裁定は最終で上告されない。

4.5 ORC の代表者

ORC は、主催団体との合意に基づき、ORC メンバーのチームをレース委員会・インターナショナルジュリー・計測委員会・メディアとオーガナイズング委員会の一部として指名出来る。ORC の代表は大会の期間中は各委員会に指導や助言を与える権利を有す。ORC チームは ORC に、チャンピオンシップ後の最初の会合で大会実施の会計と大会を評価し将来の ORC チャンピオンシップを改善するための提案や関連事項の報告を行う。

4.6 計測委員会と計測の手順

a) 計測委員会は、ORC のチーフメジャラーが主催団体とその国のナショナルオーソリティーと相談した後に、共同して指名される。少なくとも一名は他国から選ばれ、大会期間中を通して最低一名の ORC が四角を認定する計測員が居なければならない。

b) 最初のレーススタートに先立ち、以下の義務的な計測管理が全ての参加艇に対して計測委員会の指示の元に実施されねばならない。

- i) 安全装備のチェック
- ii) 計測インベントリーのチェック
- iii) セール計測のチェックとスタンプ押し

c) 最初のレーススタートに先立ち、以下の任意の計測管理が計測委員会の指示で実施されねばならない。

- i) 無作為抽出によるクルー重量のチェック
 - ii) フローテーションと復元力チェック
- d) 公式体重計は大会の前と期間中にクルー重量を計測する目的に準備されていなければならない。
- e) シリーズ中のいかなる時にも、ヨットがレース中であっても、レース委員会の裁量でセールとヨットは精査され、ルールに準拠しているかを点検される。レースのある日に付き最低 6 隻のヨットを点検する。この点検には以下の項目を含む。
- i) レース中に搭載されたセールインベントリー
 - ii) クルー重量
 - iii) 安全装備品と外洋特別規定 (OSR) の適合性
 - iv) フローテーションと復元力
- f) 適合しない事が見つかったいかなる項目も、レース前に修正され確認される。レース中に非適合が発見されれば、ORC ルール 305 に規定された抗議の対象となる。

4.7 レース公示

チャンピオンシップの最初の日より最低 6 ヶ月前に主催団体 (OA) は関係する全ての国にレース公示を発行する。このチャンピオンシップルールの付則になっている標準レース公示が使用する事。発行に先立ち原案や、標準レース公示を変更した場合は、ORC の承認が必要である。最終版といかなる変更点も承認されればすぐに大会ウェブサイトに掲出されねばならない。

4.8 帆走指示書

これらのチャンピオンシップルールの付則にある帆走指示書を使用する事。発行の前に、原案と全ての変更は ORC の承認を得なければならない。帆走指示書はインターナショナルジュリーに大会に到着するまでに配布されなければならない。参加者用には、大会到着時に入手可能で無ければならない、また最終版と全ての修正は大会ウェブサイトに掲出されねばならない。

4.9 ウェブサイトとデジタル情報

主催団体 (OA) は適切で機能的なウェブサイト (開催年と大会名を含む独自の URL が望ましい) を開設し、そこから全ての必要文書やプロモーション文書が大会の前後を通じて入手可能とする。機能性の詳細やサイトの構成は、ニュースや情報を出来るだけ明解で効果的に提供するために、ORC の同意が必要である。サイトは地方の言語でも良いが、全ての公式文書は英語版で (4.3 参照) 提供されねばならない。全ての国際 ORC チャンピオンシップでは、全ての情報が提供される完全な英語版の大会ウェブサイトが必要である。

サイトにはデジタルベースのエントリーシステムがあり、サイト上で国・セール番号・ボートタイプ・オーナー名・艇長名・およそのレーティング、を含むエントリーリストが表示されること。デジタルでのクルーリストシステムも必要で、クルーの氏名とワールドセーリングセーラー ID リストが表示され、コリンシヤントロフィー (アマチュア部門) のエントリーにはワールドセーリングのグループ資格が必要。クルーリストに付いては完全公開の必要は無いが (ログインアクセス方式)、ORC と World Sailing (ISAF) が資格の検証可能な必要がある。追加の参加情報である艇の写真・チームとスキッパーの略歴・過去のレース成績等は歓迎される。

全ての公式文書は提供可能になり次第ウェブサイトに、出来れば、html か pdf フォーマットで掲出される。レース成績も掲出可能になり次第、最終版でなく後の抗議等で訂正可能性があっても早急に掲出する。ウェブベースの成績算出システムは有効で、近い将来レース成績を出来るだけ早く・広く提供するために必要とされるかも知れない。

4.10 マーケティング、プロモーションと媒体

主催団体 (OA) は、ORC と協力してどの ORC チャンピオンシップ大会の国際的な露出とその重要性を最大限にするように、マーケティングやプロモーションに努力する。これには、最新のニュースや情報を英語や地方言語で ORC のウェブサイトに投稿する事を含む。

大会中は ORC の援助を得て主催団体 (OA) は、毎日の状況を適切な著作権無しの写真付きで英語にて情報提供する。

これはレースコースだけでなく開会式や表彰式等の関連イベントも有効。これらは毎日大会ウェブサイトを更新される。ソーシャルネットワーク媒体についても、大会の事前から会期中までイベントメディアチームによって内容の更新が行われる。

5. 規則 (Rules)

5.1 ORC チャンピオンシップは以下の規則に従って行われる。

a) ワールドセーリングのレーシングルールオブセーリング (RRS)

b) ORC チャンピオンシップルール

c) 関連する ORC グランプリ又は ORC クラスルールと、参照として IMS ルール・ORC レーティングシステムルールとその他全ての ORC が発行し、承認したルール。

d) ワールドセーリング外洋特別規定 (OSR)

スポーツボートを除く、全てのレースはカテゴリー3 (ライフラフト搭載は主催団体か ORC が決定する)。

スポーツボートについては ORC スポーツボートクラスルールが適用される。

c) ORC 標準フォーマットに準拠したレース公示及び、帆走指示書

d) ORC の承認が無ければ、開催地の国別協会の対応は適用されない。

5.2 自動で機械式の操舵のためのウインドベインの使用は禁止する。

5.3 上架

大会1日目の午前9時以降、参加登録された艇はインターナショナルジュリーの文書による許可後に、故障の修理を目的としてのみ許される。この目的での上架中に艇体の水線下部を洗浄したり研磨する事は許されない。レースシリーズ中には、ラダーは水中から取り外してはならず、センターボードはそのケースから取り外してはならない。

6. 資格充足と認定

6.1 世界選手権としての大会資格には、有資格のヨットの最低数が必要。有資格であるためにヨットは、会場にある事と、計測委員会のチェックを受け、インターナショナルジュリーが大会に参加するための要件を全て充足していると受け付けられねばならない。世界選手権のためには、ヨットのオーナーは関連する適切なクラス協会の会員である事。マキシクラスを除き、最小参加艇数は14で最小参加国数は4カ国を代表する。マキシクラスについては最小参加艇数は6隻で、異なる3カ国か2つの大陸からの何れかから少なくとも1隻の参加が必要である。

その大会でのエントリー資格を満たすためには、それ以上のレース続行を不可能とするような重大な破損がある場合を除き、少なくとも予定されている1レースにスタートしてフィニッシュせねばならない。

6.2 チャンピオンシップのエントリー書式は ORC の指導と、常に以下の原則に準拠して作成される。

-参加艇数によってフリートは2か3のクラスに分けられる

-各クラスは独自のスタートと成績を持つ。主催団体(OA)と ORC は異なったコースとレースエリア設定の必要性を決められる。

-クラスは以下のエントリー数に達した際に CDL で決定される。

クラス A: 10 隻の参加

クラス B: 20 隻の参加

クラス C: 20 隻の参加

CDL クラスの制限

ORC A 17,0 >= CDL > 11.6

ORC B 11,6 >= CDL > 9,7

ORC C 9,7 >= CDL > 8.5

主催団体(OA)は最小艇数に満たない場合、グループエントリーを2クラスのみにする権利を持つ。この場合、

ただ1つのチャンピオンシップタイトルのみが組み合わせされたクラスに割り当てられる。主催団体はまた ORC に必要な場合には CDR の下端値を 8,0 に下げる許可を申請出来る。もしクラスが 50 隻を越えた場合主催団体はそのクラスを 2 つに分けて、グループセーリングの原則に従ってレースを運営する。

ORC はワールドチャンピオンシップとして大会が成立するのに必要な、最小の参加ボートと国の数に付いて裁量権を持っている。

- 6.3 ORC のチャンピオンシップは ORC の同意表明無しに他の大会の一部としては開催されない。別のクラス、スタートと成績がチャンピオンシリーズとして提供される同意がなされても。
- 6.4 参加艇の数は 3.1(c) で述べられている受付可能の最大数を越えない。ORC は主催団体 (OA) の要求に基づき、例外を認める事が出来る。開催国を含む、国毎の最大参加艇数は ORC と主催 6.2. によって分けられた団体 (OA) で合意される。ORC 世界選手権では、主催団体 (OA) と ORC は CDR の上限と下限を設定し、関連クラスは 6.2. によって分けられる。大陸レベルの選手権では主催団体は (OA) は ORC と合意する事で CDR のリミットを変えられる。
- 6.5 RRS76.2 の目的で認証する団体は ORC である。ORC の大会参加役員はこの規則による間隔のもとに、ORC の代表者が提出する大会のインターナショナルジュリーに疑問がある場合、ORC の代表者は関連する会議に出席する。
- 6.6 有効な ORC international レーティング証書はエントリーと共に (それがクラスの場合はクラス証書が) 提出される。いかなる証書の変更も登録の最初の日の午前 9 時前に、また大会のレース公示に従って、なされねばならない。計測とインスペクションが必要な変更はレース最初の日の午前 9 時まで、大会のレース公示に従って、提出されねばならない。全てのレーティング証書は再度点検され、証書を発行した国別オーソリティーによって保証される。全てのレーティング証書はどの参加者でも点検のために入手可能で大会ウェブサイトや ORC セーラーサービスデータベースに掲載される事が望ましい。
- 6.7 参加登録している艇の、所有者・チャーターしている人、借用している人は、彼らが代表する国の国民である。国民はパスポートの所持者が ID カード、国を代表する居住地を証明する書類の何れかの所持者である。
- 6.8 要求されている全ての情報を含むクルーリストは最初のレース前にレース公示に従って提出され、要求があれば全ての参加者に開示される、
- 6.9 クルーの交代はレース委員会責任をとれるインターナショナルジュリーの同意をもって許される。オーナーはクルー重量が超過していない事の確認に責任がある。インターナショナルジュリーは当初のクルーメンバーの重量と交代するクルーの重量を記録する事を要求する事が出来る。

7. 装備

7.1 セール

1 セットのセールと一枚のメインセールがシリーズで使用が許され、ORC の計測員によって計測され、スタンプが押される。スタンプを受けたセールは大会用にマーキングされ、レース公示で特別に規定されていなければ、ORC レーティングルール 206 で許される最大数を越えてはならない。この最大数を決定するのは GPH がクラスの全てのヨットに使われ、クラスルールレーティングバンド制限として与えられた 2 つの GPH の早い方が使われる。2 枚目のメインセールを例外として、全てのセールは搭載されねばならない。この 2 枚目のメインセールは最低 1 セットのリーフポイントが必要である。メインセールは交換可能。シリーズ中に破損したセールは修理が可能である。修理以上に破損したセールはインターナショナルジュリーの許可で交換出来る。

7.2 マストとスパー

マストやスパーが破損したり壊れた場合、修理可能で、一回だけ交換出来る。修理や交換の前後にインスペクションが必要。修理や交換は善意のケースにのみ許可される。マストが交換された場合、IMS ルールで規定されているように、リグは計測を受け、ヨットは水上計測を受ける。新しい有効な証書はシリーズの終わりまでに発行される。

8. 賞

- 8.1 基本的なトロフィーはレース公示と帆走指示書に記載される。
- 8.2 持ち回りのトロフィーかチャレンジカップは次年度の開催クラブにその大会の結果が適切に刻印された後に送り返す事は、勝者の責任である。

8.3 コリンシャントロフィー

ORC は大会主催者にコリンシャントロフィーを与える事を勧める。この賞への資格には参加ヨットの全てのクルーはワールドセーリングのセーラークラシフィケーションコードのグループ1で無ければならない。別個のディビジョンが無ければ、コリンシャントロフィーを競うヨットはその他全ての賞にも有資格である。コリンシャントロフィーの有資格に付いてのいかなる決定もその他の成績には影響を及ぼさない。どのようなチャンピオンシップでもコリンシャントロフィーの成立には最低2隻の参加が必要である。コリンシャンクラス参加艇のクルーリストは現場に掲示されるか、大会ウェブサイトに掲示され、クラシフィケーションの抗議タイムリミットは最初のレース終了までである。

ワールドセーリングのクラシフィケーションからの代表をクラシフィケーションに付いての登録事務の期間に会場に招聘する事を推奨する。燃しそうなら、標準レース公示のセクション5が使用される。

8.4 オーナー/ドライバートロフィー

ORC は個別にオーナー/ドライバー賞を与える事を勧める。オーナーが大会の第1ヘルムスマンとして参加し、緊急の場合を除いて常に操舵をする参加者が対象となる。外洋レースの場合、オーナー/ドライバーは少なくともスタートとフィニッシュの操舵をする事。

9. 免責事項

ORC、その各委員会と代表者、はこの規則と推奨事項をヨットマンの利益のために提供した。しかしながら、その方針や規則に起因する、いかなる損失、破損、傷害や不便に対して責任を負えない事を理解している。

以 上